

対馬暖流は沿岸と沖合を北上 対馬暖流の流量は平年よりも多い 今後の沿岸水温は平年よりも高めで推移

2022年4月11日～17日にかけて実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。

対馬暖流は、松前沖の遙か西方から本道に接近後、沿岸寄りを北上しています。積丹半島近海には暖水渦が形成されているため、対馬暖流は沿岸側と渦の西方の2つのルートに分かれ北上しています（図1c）。対馬暖流の北上流量は約1.2Sv（1Sv=10⁶m³/s）で平年よりも約3割多くなっています（4月流量の平年値は0.9Sv）。

50m深水温は、石狩湾以南の沿岸寄りで7℃以上になっています（図1a）。また、50m深水温偏差は平年並みか1℃高い海域が多いですが、暖水渦が分布する積丹半島近海では平年よりも2～3℃高くなっています（図1b）。一方、沖合冷水が張り出すせたな沖では、50m深水温偏差は平年よりも約1℃低くなっています（図1b）。

余市前浜水温は3月中旬から「やや高い」状態が持続していますが（※1）、4月中旬から5月中旬の気温は平年よりも高い予報となっていますので（※2）、沿岸水温は今後も平年よりも高めで推移することが予想されます。

※1 <https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyuu/suion/index.html>

※2 気象庁HPより1ヶ月予報：<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>



余市前浜水温 気象庁1ヶ月予報

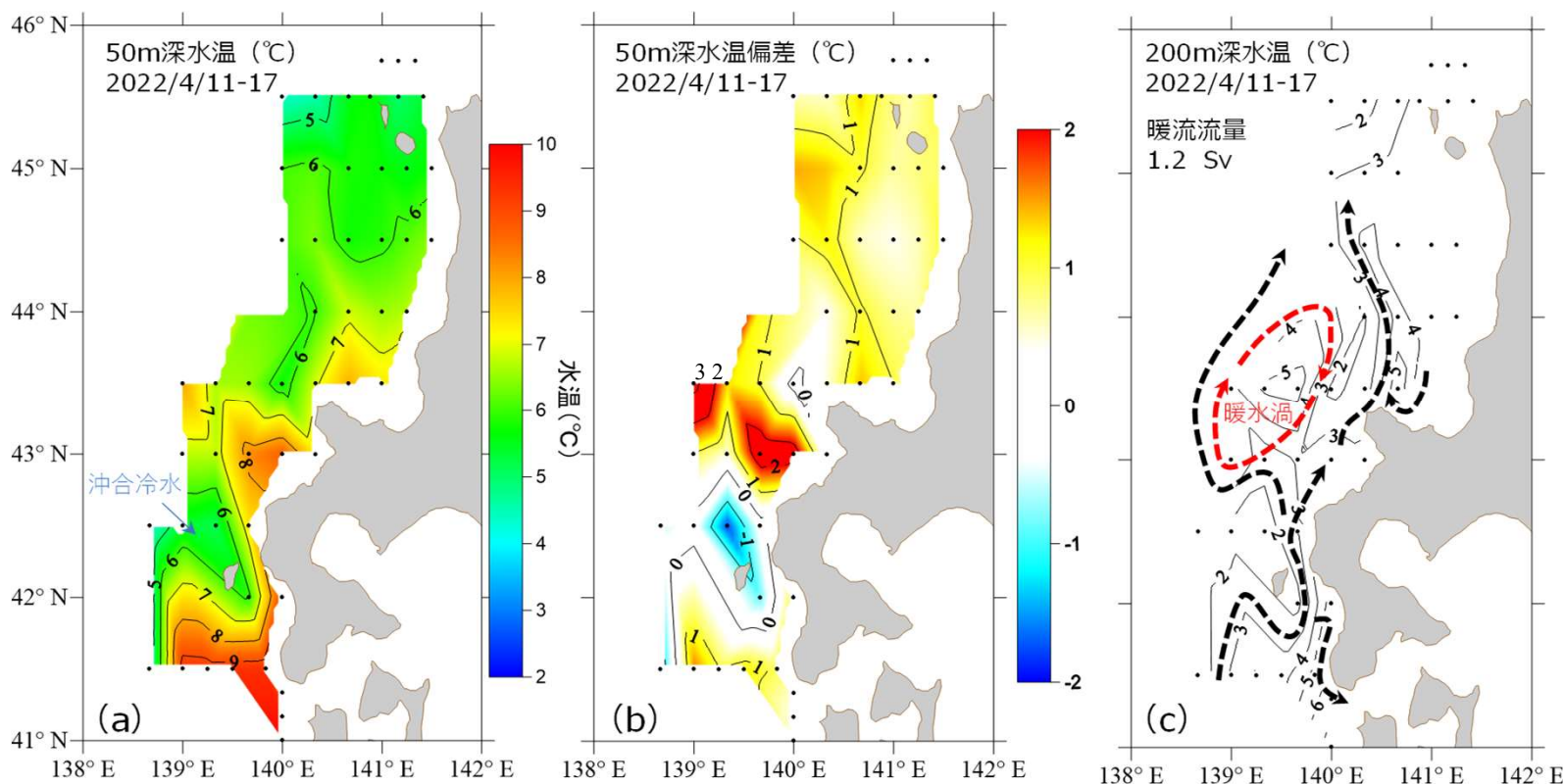


図1 2022年4月中旬における (a) 50m深水温 (b) 50m深水温偏差の水平分布、(c) 200m深水温の水平分布と対馬暖流の流路(矢印)。水温偏差は過去30年(1989年～2018年)の平均値から算出。流量の単位はSv (=1×10⁶m³/s)。

対馬暖流は沿岸と沖合を北上
対馬暖流の流量は平年よりも多い
今後の沿岸水温は平年よりも高めで推移

2022年4月11日～17日にかけて実施した日本海定期観測の結果をお知らせします。

対馬暖流は、積丹半島沖に強い暖水渦が形成されているため、蛇行しながら北上しています（図1c）。特に、石狩湾以北では北上流の流れが速くなっています。対馬暖流の北上流量は約0.8Sv（1Sv=10⁶m³/s）でほぼ平年並です（4月流量の平年値は0.9Sv）。

50m深水温は、平年よりも2℃高い岩内湾沖とその南方の沖合冷水が張り出す海域を除き、平年並みか1℃高い状況です（図1a、b）。

余市前浜水温は3月中旬から「やや高い」状態が持続していますが（※1）、4月中旬から5月中旬の気温は平年よりも高い予報となっていますので（※2）、沿岸水温は今後は平年よりも高めで推移することが予想されます。

※1 <https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyuu/suion/index.html>

※2 気象庁HPより1ヶ月予報：<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/>



余市前浜水温 気象庁1ヶ月予報

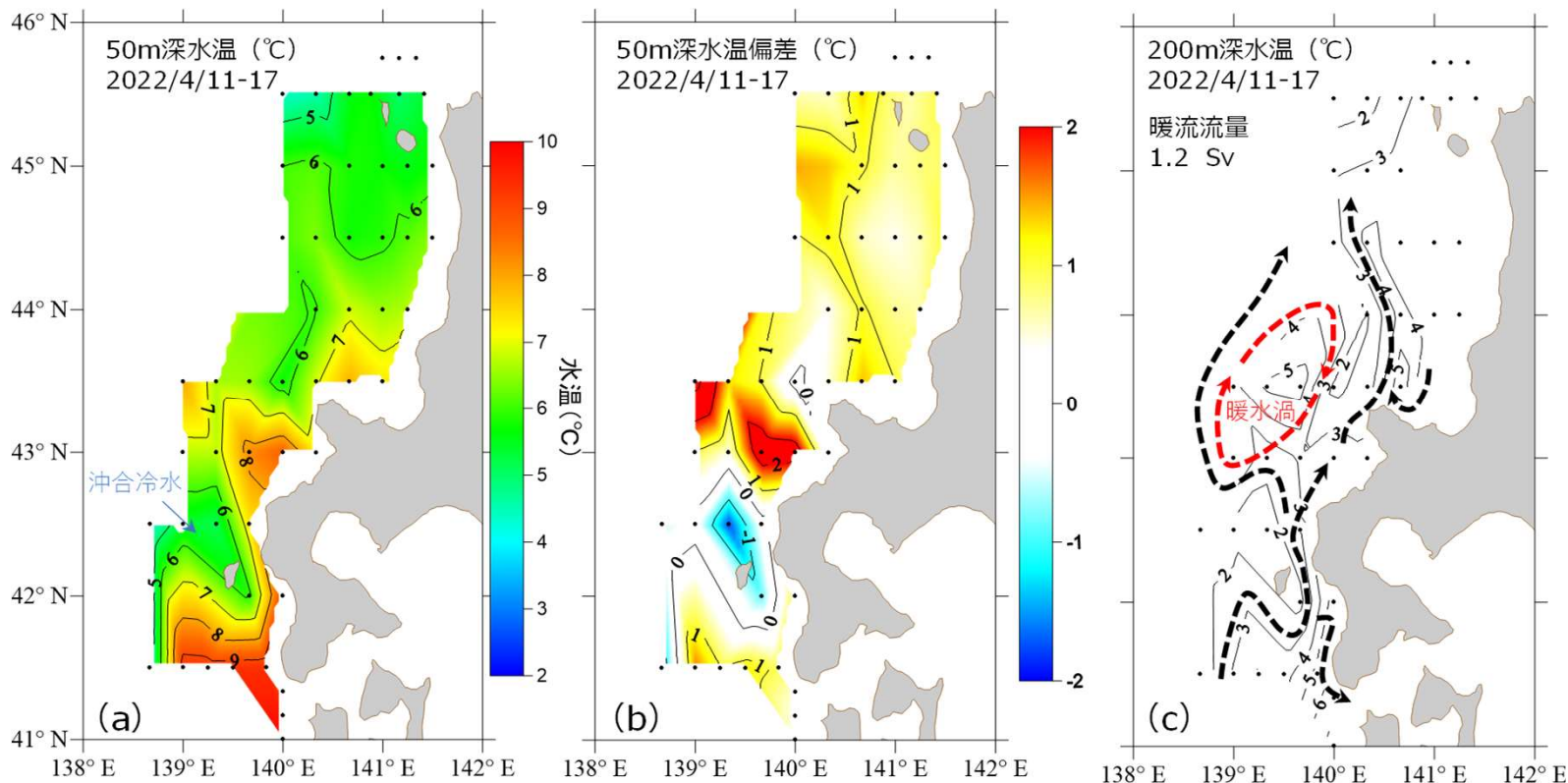


図1 2022年4月中旬における (a) 50m深水温 (b) 50m深水温偏差の水平分布、(c) 200m深水温の水平分布と対馬暖流の流路(矢印)。水温偏差は過去30年(1989年～2018年)の平均値から算出。流量の単位はSv (=1×10⁶m³/s)。